

知的財産戦略ビジョン 目次

資料 1

<u>はじめに ～新しい時代の新しい知財戦略～</u>	1
<u>第1. 将来の社会変化につながると考えられる現在の環境変化や兆候</u>	3
1. 価値観・社会状況における変化の兆候	3
2. 新技術の進展と浸透	6
3. 国際関係における環境変化	10
<u>第2. 現在の兆候から予測される将来の社会像～人が幸せになる未来を作ろう～</u>	12
1. 主に人の将来像（生き方、働き方、価値観）	15
2. 主に産業の将来像（イノベーション、競争力）	16
3. 主に社会の将来像（仕組み・ルール、国際関係）	18
4. 「未来」の相反性（人々が幸せを感じる未来になっているか？）	20
<u>第3. 将来における「価値」とそれを生む仕組みのデザイン</u>	22
1. 望ましい将来において重要となる「価値」	22
(1) 個人の多面性と多様性を活かす	22
(2) リアル（実物、体験、本物、歴史、文化など）の価値が高まる	23
(3) 「新しい」を創る（イノベーション）・創発が不可欠に	23
(4) 社会が多様な価値を許容することが基盤	24
2. 我が国の新しいビジネスや国際競争力向上につながる「価値」の創出の仕組み	24
(1) 多様な個性を生み出す仕組み	25
(2) 多様な個人が活躍する環境整備	26
(3) 知識のプラットフォーム化	26
(4) 多様な価値を包摂する社会システム	27
(5) 将来の価値創造エコシステムの一例	28
<u>第4. 日本の特徴を世界への価値の発信に活用する</u>	30
<u>第5. 将来の「仕組み」に向けて今後の検討が必要な課題</u>	34
1. 「価値デザイン社会」への挑戦	34
2. 具体的なシステムの例	39
(1) 脱平均で価値を生み出すチャレンジをする人材・組織の育成・集積と彼らが力を発揮して イノベーションを生みやすい場の提供	40

①新たな価値創造を行える人材の育成【短・中期】	40
②価値創造メカニズムの見える化とそれを活かした組織経営【短・中期】	40
③多様な人材・組織が集う場の形成【短・中期】	41
④多様な価値を見える化、評価するシステムや指標づくり	42
⑤多様な価値を満たす事業にチャレンジするベンチャーを後押しする仕組み	42
(2) 技術・データ・コンテンツ等知的資産の柔軟な交流や共有を促し、価値を拡大する 仕組みの構築	43
①SDGs等実現のための知的資産プラットフォーム【短・中期】	43
②次世代のコンテンツ創造・活用システムの構築【中・長期】	44
(3) 世界に共有される価値や感性の持続的な生産・発信・展開	45
①クールジャパンの魅力分析・効果的発信【短・中期】	45
②クールジャパンを支える外国人の集積・活用【短・中・長期】	47
③デジタルアーカイブの構築【短・中期】	48
(4) その他の今後検討すべき課題	49
<u>おわりに</u>	50